

柳ヶ瀬グラスル35

Gテラスの1年を振り返る

西田 龍人

二〇二三年春、岐阜市のセンターゾー
ン柳ヶ瀬に「柳ヶ瀬グラスル35（以
下、グラスル）」が開業した。構想から
三十五年を経て実現したこの事業には、
当社も再開発コンサルタントとして約
三十年携わってきた。

本誌前号でもお伝えしたように、グ
ラッスルの一階、柳ヶ瀬商店街の劇場通
りに面して全天候型イベント空間「Gテ
ラス」が整備され、現在、当社でその運
営を担っている。

本稿では、開業から一年を迎えたGテ
ラスの様子を振り返る。



柳ヶ瀬グラスル35誕生！

二〇二三年三月四日（土）、五日（日）
に開催された完成記念事業「REBORN
YANAGASE」が、Gテラス初のイベント
となった。同日には近接する金公園がリ
ニューアルオープンし、生まれ変わる柳
ヶ瀬の幕開けへの期待が高まった。

四月一日（土）、二日（日）には日比野
克彦氏監修のモザイクタイルワーク
ショップをGテラスで開催。延べ四百人
以上の老若男女が集まって制作された
モザイクタイルアートは、グラスル二
階壁面に展示されている。

そして、四月三〇日（日）から五月七
日（日）までの八日間は、Gテラスをメ
イン会場として、オープニングイベント
「誕城祭」を開催。期間中は日ごとに
テーマを設定し、音楽ライブ、バスケッ
トボール、プロレス、ラジオの公開生放
送など、今後の利用の参考となる様々な
企画を展開した。この様子はメディアで
も大きく取り上げられ、グラスルの誕
生は広く知られることとなった。

誕生から日常へ

誕城祭終了後からはGテラスの一般
貸出が始まった。二〇二三度は三十五件
の利用があり、自動車やガス機器の展示、

商談会といった民間利用のほか、以前か
ら開催されていたぎふ信長まつり、さん
ぱde野外ライブといったイベントの
会場としても利用された。商店街や金公
園、文化センターと組み合わせる開催さ
れることもあり、まちなかでの回遊も生
まれている。

Gテラスには、パブリックスペースと
して、にぎわい創出の場、交流の場、情
報発信の場とする、という基本理念があ
る。岐阜市の中心部という立地、天候に
左右されない環境、使いやすい料金設定
などにより、民間や行政関係のイベント
だけでなく、市民団体が主催する催しに
も利用されている。これまでに吹奏楽団
の演奏会、バンドの音楽ライブ、おはや
し団体による郡上おどりの生演奏など
が開催され、市民の発表の場、交流の場
としての活用が進む。

また、管理組合商業部会は、営業者で
構成する城彩会と連携して、自主企画を
実施している。昨年度はワインフェスタ、
クリスマスイベント、マルシェなどを開
催し、好評を博した。当社では商業部会
の事務局も担っており、今後は自主企画
も充実させたいと考えている。

グラスル、Gテラスが誕生して一年。
試行錯誤の連続ではあるが、多くの方に
利用していただきながら、柳ヶ瀬エリア
の活性化に欠かせない、真の拠点施設へ
と育てていきたい。



柳ヶ瀬 グラッスル 35 Gテラスをぜひご活用ください！

全天候型広場

天候に左右されず
イベントを実施可能

柳ヶ瀬最大規模

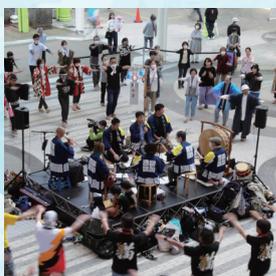
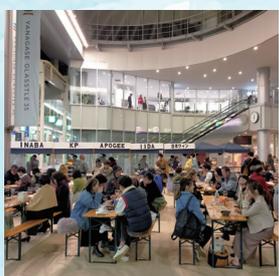
約 330 m² を利用でき、
様々なレイアウトへ対応可能

周辺に魅力的な空間

商店街や金公園など、周辺の
魅力的な空間との相乗効果も

大型ビジョン

約 200 インチのビジョンを設置
イベントやCM 放映に活用可能



詳しくは
柳ヶ瀬グラスル35
Webサイトへ！

